



三菱食器洗い乾燥機

販売店・据付業者様用

据付説明書

形名

パネルタイプ

EW-45L1S

EW-45H1S

EW-45V1S

EW-45R2S

EW-45R2B

面材タイプ

EW-45L1SM

EW-45H1SM

EW-45V1SM

EW-45R2SM

EW-45R2BM

<据付けをされる方へのお願い>

●この据付説明書の内容に沿って、正しく取り付けてください。
据付説明書の内容に従わずに取り付けを行った場合に発生した事故・損害は、一切責任を負えません。

- この製品は、(一般財団法人)電気安全環境研究所(JET)より『給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(厚労省令)』に適合するとの証明を受けています。給水装置への接合に際し、逆止弁などの設置の必要はありません。なお、JETは、厚労省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者機関のひとつであり、他に(公社)日本水道協会などがあります。
- 給水装置工事(配管工事)は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は水道法の定める水質基準に適合しているか確認のうえ、ご使用ください。(不具合が発生した場合、保証期間内でも無償保証できません)
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい据付けが必要です。据付け前に、この据付説明書を必ずお読みください。
- 据付け終了後、直ちにP18の「**8** 据付け後の確認(チェックリスト)」とP19～21の「**9** 試運転」に基づいて、必ず再確認を行ってください。
- 据付けに関して不明な点がありましたら、お買上げの販売店へご相談ください。

<本書に記載のマークについて>



このマークがある作業は電動ドライバーを使わず、必ず手締めしてください。
電動ドライバーを使用すると、破損のおそれがあります。

●この据付説明書は据付け終了後、お客様へ必ずお渡しください。

もくじ

安全のために必ずお守りください	2	6 据付け手順	11
1 各部の名称と寸法	4	7 部品取付方法	17
2 設置場所について	5	8 据付け後の確認(チェックリスト)	18
3 給・排水工事について	6	9 試運転	19
4 電気工事について	9	10 お客様への説明	22
5 設置前の作業	10		

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 図記号の意味は次のとおりです。

 禁止	 分解禁止
 火気禁止	 ぬれ手禁止
 水かけ禁止	 アース線を必ず接続せよ
 指示を守る	

警告

- 禁止**
 - 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
(傷付けたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重いものを載せたり、束ねたりしないでください) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因
 - コードやプラグの修理は、お買上げの販売店へご相談ください。
 - コンセントの差し込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しない
感電・ショート・発火の原因
 - お買上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない
感電・漏電や火災の原因
 - 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない
感電・漏電や火災の原因
 - 延長コードは使用しない
発熱による火災の原因
 - 排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因
 - ビルトインのとき、電源コード・アース線・排水ホース・給水ホースに傷を付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因
 - 交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因

- 分解禁止**
 - 分解したり修理・改造しない
発火したり異常動作して、火災・感電・けがの原因
 - 修理は、お買上げの販売店またはお近くの「三菱電機ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
- 火気禁止**
 - 火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけない
変形や火災の原因
- ぬれ手禁止**
 - ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因
- 水かけ禁止**
 - 水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因
- アース線を必ず接続せよ**
 - アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士*がD種接地工事を行う
(アース工事は、お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください)
- 警告**
 - 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士*が施工し、必ず専用回線を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると、漏電・感電・火災の原因

*工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

警告

- 警告**
 - 据付けは、お買上げの販売店または専門の据付業者に依頼する
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客様自身で据付けされ不備があると、水漏れや感電・火災・事故の原因
 - 定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因
 - 電源プラグは刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く
火災の原因
- 警告**
 - 電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因
 - 傷んだプラグ・ゆるんだプラグは使用しないでください。
 - 電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む
上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因

注意

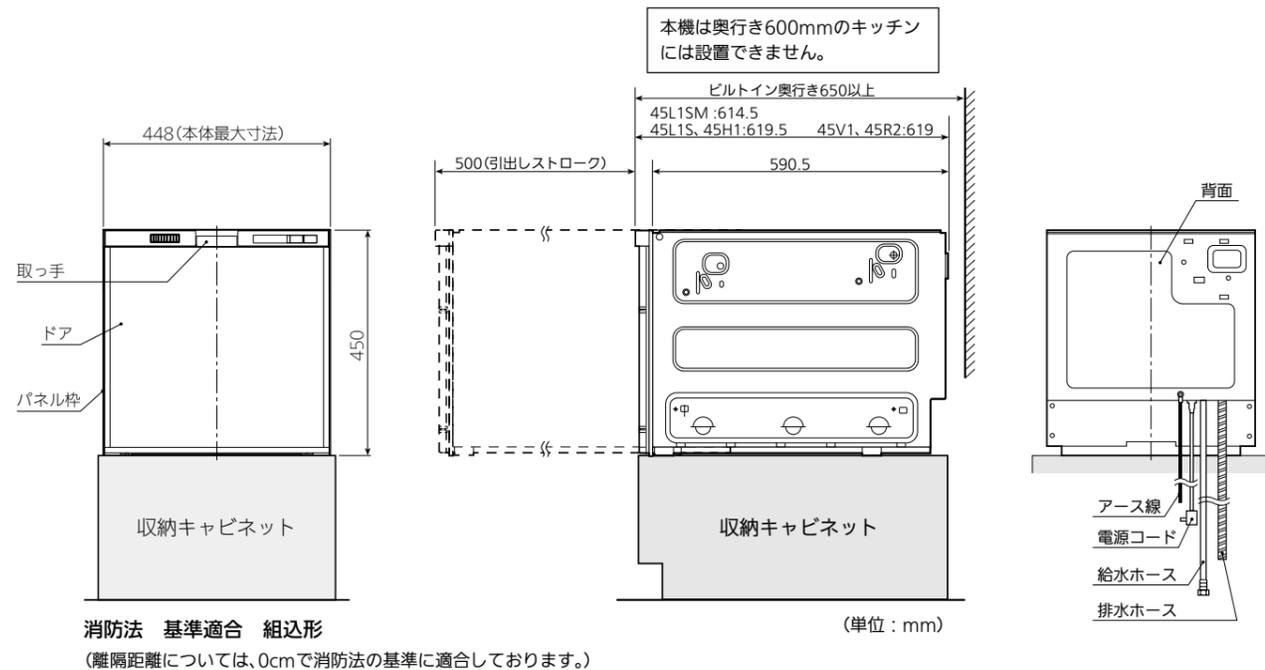
- 禁止**
 - 凍結のおそれがある場所(室温0℃以下)へは設置しない
水漏れの原因
 - 元止め式湯沸し器には接続しない
湯沸し器からの水漏れの原因
 - 止水栓が開いた状態のときは、本機(食器洗い乾燥機)への通電(ブレーカーなど)は切らない
本体の異常監視ができなくなる原因
 - 試運転終了後、本機への通電(ブレーカー)を切る場合は、必ず止水栓を閉めてください。
※引き渡しまで日数がある場合、引き渡しまで止水栓を必ず閉めてください。
止水栓を開く時は、通電してから開いてください。
 - 排水ホースは切断しない
水漏れの原因
- 警告**
 - 上下水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が、指定された配管材料を使用して施行する
配管破損による水漏れの原因
 - 据付け部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する
当社指定部品を使用しないと、事故の原因
 - 高水圧地域では、減圧弁を必ず取り付ける
水漏れの原因
 - 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因
 - 必ず転倒防止金具と前ズレ防止金具を取り付ける
落下によるけがの原因

1 各部の名称と寸法

● 本体および、かごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。

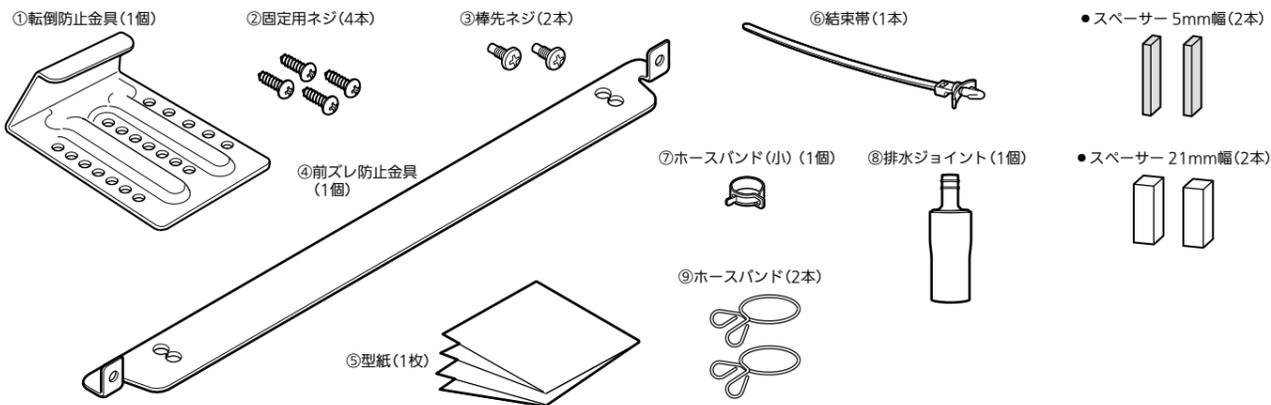
※ 本説明書は、下図に示す収納キャビネットが、事前に設置されていることを前提にしております。

※ 下図はドア構成がパネルタイプのEW-45R2Sをベースとしています。寸法関係は面材タイプについても同様です。

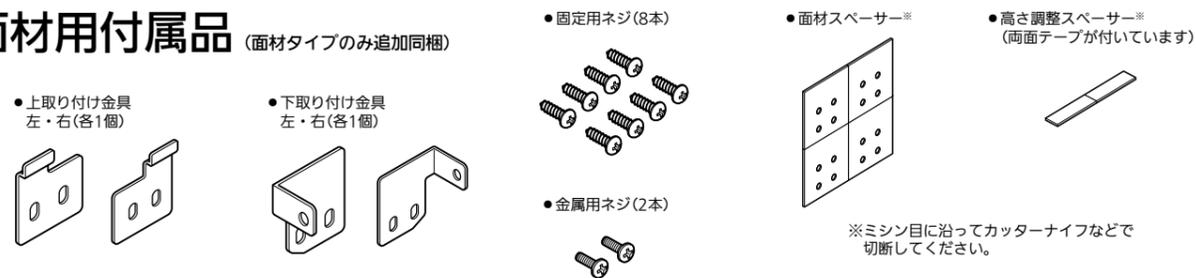


1-1 付属品の確認

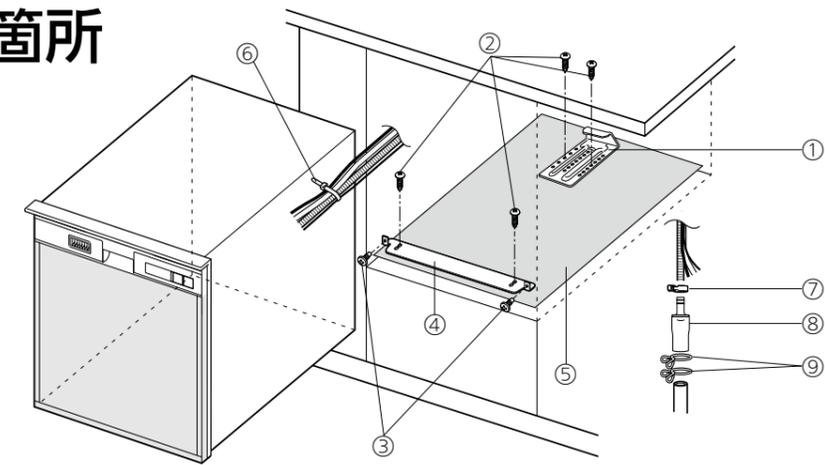
据付けに必要な付属品



面材用付属品 (面材タイプのみ追加同梱)



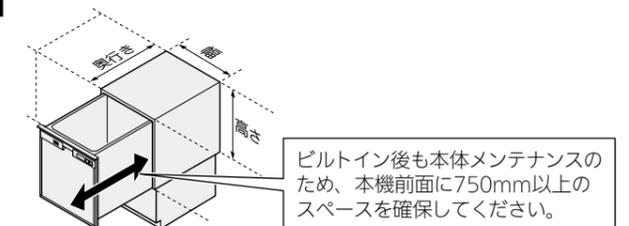
1-2 使用箇所



2 設置場所について

- ビルトイン奥行650mm以上のキッチンに設置してください。奥行600mmのキッチンには設置できません。
- キャビネットが必ず水平であることを確認してください。

収納キャビネット寸法	
奥行き	650mm以上
幅	450mm以上
高さ	455mm以上(収納キャビネットからの高さ)



片側がフリーの場合	L型コーナーの場合
<ul style="list-style-type: none"> ● 片側がフリーの場合、幅150mmキャビネットなどを使用して、カウンターを支える処理をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオープンなどの取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合があります。ドア開閉のスペースを確保してください。
片側が壁面または、トルユニットの場合	
<ul style="list-style-type: none"> ● カウンター支持金具は、市販のL金具を使用します。 ※締結ビスの長さは、右図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。 法令：電気設備の技術基準の解釈 	

- ビルトイン型加熱機器などと並べて設置すると、カウンター上に荷重をかけた場合、たわむことがありますので、補強処置をしてください。(市販のL金具を使用します)

お願い

- 法令義務により、本機やキッチンの金属部分は、家屋の壁中のラスや金属板に、電氣的に接触しないようにしてください。
法令：電気設備の技術基準の解釈

3 給・排水工事について

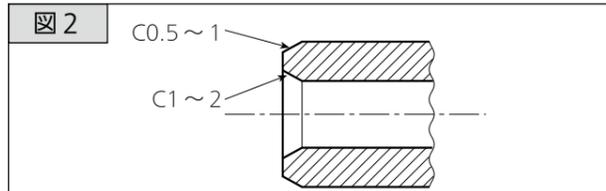
- 本機が使用できる水道水圧は0.03～1MPa (0.3～10kgf/cm²)の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、0.6MPa(6kgf/cm²)を超える場合は減圧弁を取り付けてください。
- 必ず、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は、水道法の定める水質基準に適合しているか確認のうえ、ご使用ください。(不具合が発生した場合、保証期間内でも無償保証できません)
- 本機は(一般財団法人)電気安全環境研究所(JET)より「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(厚労省令)」に適合するとの証明を受けています。給水装置への接合に際し、逆止弁などの設置は必要ありません。各市町村の条例などにより、逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、以下の対応のいずれかを実施してください。
 - ・シングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付けてください。
 - ・本機の配管に減圧弁を取り付けてください。(水栓の急閉止時のウォーターハンマー現象により、逆止弁の下流側の本機や、本機の配管に異常な高水圧がかかり、本機の故障や水漏れの原因となるためです)
- 本機は配管直結タイプですので、設計及び施工工事の段階で、給・排水の位置決めを正確にしてください。
 - ・給湯(給水)管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用して、断熱材を巻いてください。(給湯の場合は必ず耐熱配管にしてください)
 - ・排水横枝管に至るまでの接続部分は、耐熱塩化ビニル管(HT相当品)を使用してください。
 - ・配管用接着剤は、耐熱用を使用してください。
 - ・給・排水配管の端面は、バリの無いよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。
 - ・止水栓(ハンドル形、固定ゴマタイプ)を必ず取り付けてください。

※冬季長期間留守にし、凍結が心配される地域に設置される場合は、水抜き栓を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。(図1参照)

- ・排水管HT20の端面内周に、面取り(C1～2)を施してください。外径外面側は面取り(C0.5～1)をつけると、ホースの挿入が容易になります。(図2参照)

注意

- 高水圧地域では、減圧弁を必ず取り付ける水漏れの原因
- 上下水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事業者が、指定された配管材料を使用して施行する配管破損による水漏れの原因



お願い

元付け型の浄水器に接続すると、残留塩素濃度が0.1ppm未満(水道法基準は0.1ppm以上と規定されている)となり屋内に給水される水が細菌などに汚染される(バクテリアが繁殖)おそれがあります。必ず、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。(不具合が発生した場合、保証期間内でも無償保証できません)

給湯機について

- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機などで、60℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。調整不可能な給湯機の場合は、温度調節器(ミキシングバルブ)の接続をしてください。
- 小型深夜電力利用温水器には、接続しないでください。本機へ給水されないおそれがあります。

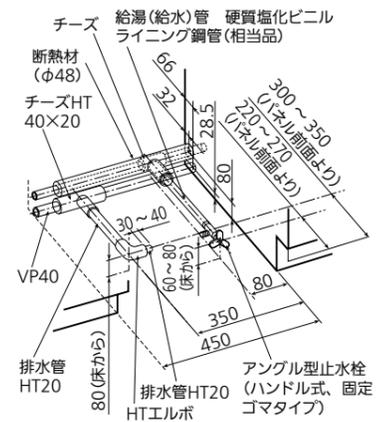
注意

- 元止め式湯沸し器には接続しない湯沸し器からの水漏れの原因

● 下記配管例以外の施工をする場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

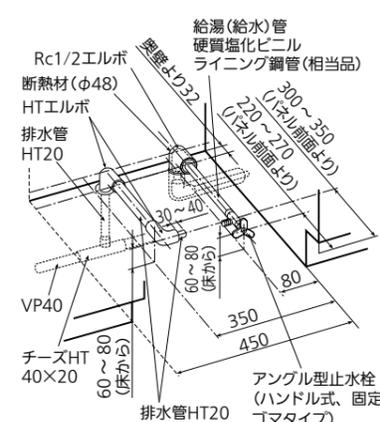
食器洗い乾燥機設置キャビネット内での配管例

床ころがしの場合



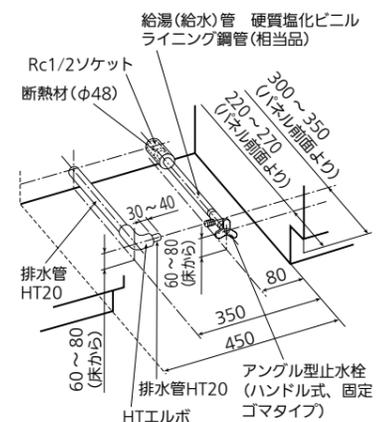
単位:mm

床立上げの場合



単位:mm

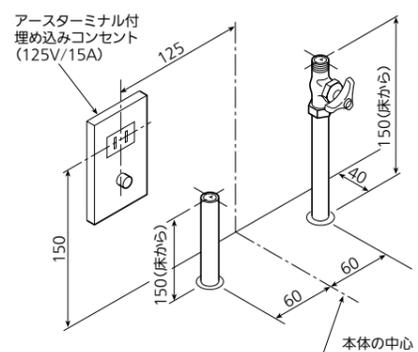
壁出しの場合



単位:mm

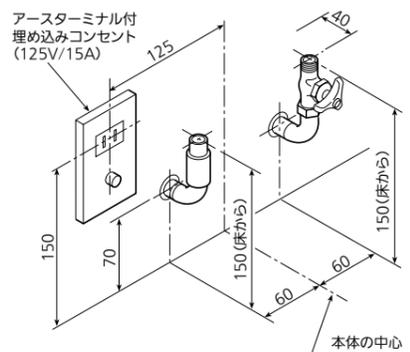
隣接するシンクキャビネットでの配管例

床立上げの場合



単位:mm

壁出しの場合



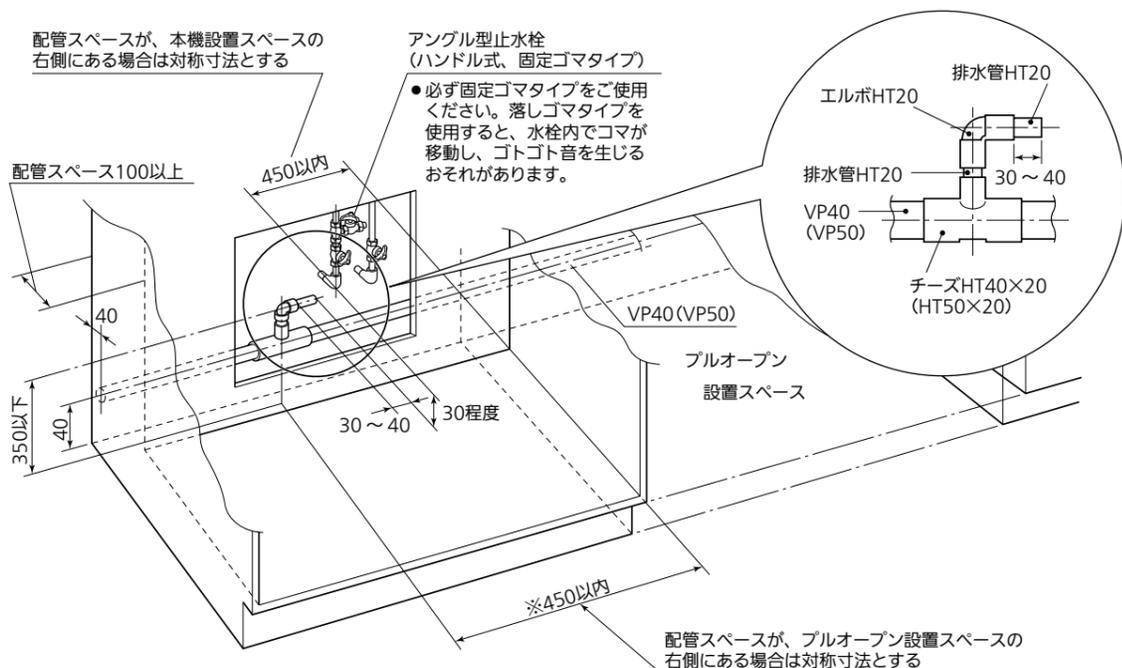
単位:mm

3 給・排水工事について (つづき)

● 下記配管例以外の施工をする場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

近接するシンクキャビネット背面に点検口を有する配管例 ※集合住宅などに多いタイプです。

床ころがしの場合



● 食器洗い乾燥機の給水ホースが止水栓に当たる場合は、フレキシブルホース(現地調達品)などを使用して、当たらないようにしてください。 単位:mm

給・排水管の施工位置について

収納キャビネットの種類(ケコミ部まで引き出しがあるもの)によっては、給・排水管の位置が本機の据付説明書のものとは異なる場合があります。

※必ず、収納キャビネット側のカタログまたは施工図面、設置説明書などに基づいて施工願います。

悪い排水配管例や接続例

下図のような配管及び接続をすると、十分に排水できなかつたり、機器に逆流したり、水漏れするおそれがあります。

- チーズ下向け設置
 - 排水ホースを折り曲げない
 - 排水ホースの高さは40cm以下にする
-
- 汚水が逆流する
- ホースが折れ曲り、排水できない
- 40cm以下

注意

- 排水ホースは切断しない
- 水漏れの原因

4 電気工事について

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が行ってください。

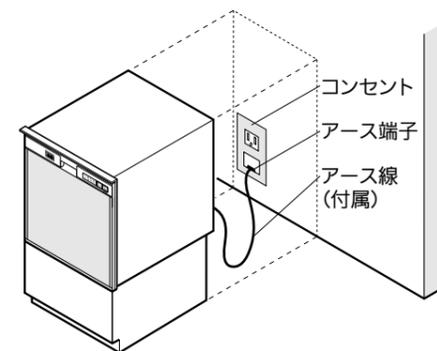
- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水工事部分を選んだ図の位置に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を接続します。
- コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを使用してください。(コンセントは壁面に必ず固定します)
- アース工事を必ず行ってください。(アースは法令上必要です)
- 200Vを使用すると、基板の電流ヒューズが切れ、使用できなくなります。無償保証できません。

アース(接地)のしかた

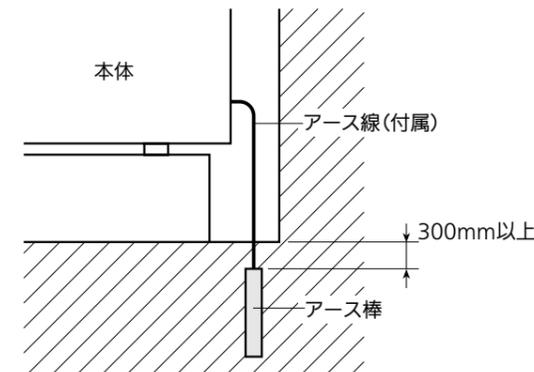
- 感電事故防止のため、必ずアースの取り付けをしてください。電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。(法令で規定されています)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。(法令で禁止されています)
- アース端子付きコンセントを利用される場合は、接地抵抗値(100Ω以下)をご確認ください。
- 設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アース取り付けを行ってください。

※ご不明な点は、お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

● アース端子付きコンセントを使用の場合



● アース棒を使用の場合



漏電遮断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電遮断器の設置が必要です。

※ なお、主幹に漏電遮断器が設けられている場合は、漏電遮断器を設置する必要はありません。

電源回路は、食器洗い乾燥機専用回路とし、他機器との併用はしないでください。

警告

- 交流100V以外では使用しない
 - アースを確実に取り付ける
 - 定格15A以上のコンセントを単独で使う
 - 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士*が施工し、必ず専用回線を使用する
- 火災・感電の原因
- 故障や漏電のときに感電する原因
- 他の機器と併用すると、発熱による火災の原因
- 電源回路容量不足や施工不備があると、漏電・感電・火災の原因

※工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

5 設置前の作業

5-1 スペーサーの貼り付け

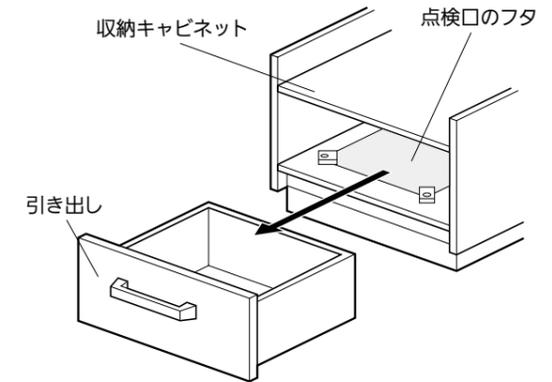
- ビルトイン後、本体が横方向に移動しないようにするため、同梱のスペーサーを本体の左右側面にしっかり貼り付けてください。
- 設置されている収納キャビネットの側面の高さにより、使用するスペーサーおよびその貼り付け位置が異なります。下表に従ってスペーサーを選び、正しい位置に貼り付けてください。

収納キャビネットの形状	使用するスペーサー	貼り付け位置
		<p>本体の上端に合わせる 本体の前端に合わせる スペーサー (厚さ: 5mm) ※外郭板金に貼る ※反対側にも貼る</p>
		<p>隣接するキャビネット側板にスペーサーを貼り付ける</p> <p>※反対側にも貼る</p> <p>天板</p>
		<p>片側が加熱機器などで、キャビネットに貼り付け出来ない場合</p> <p>本体の上端に合わせる 本体の前端に合わせる スペーサー (厚さ: 21mm) ※外郭板金に貼る ※反対側にも貼る</p>

5-2 配管の位置確認

本機の設置予定場所に、事前に設置されている収納キャビネットの構成部材の一部を取り外してください。

- 引き出しを取り外す
 - 引き出しを外すだけで、内部に事前の配管が見える場合は、他に取り外す部材はありません。
- 引き出しを抜いた内部の底面に点検口のフタがあるものは、これを取り外す (点検口の中に事前の配管が見えます)
 - ①、②で取り外した引き出しおよび点検口のフタは、「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。
 - ※ 収納キャビネットの構成が上記と異なる場合は、事前の配管が見えるようになるところまで、部材を外してください。

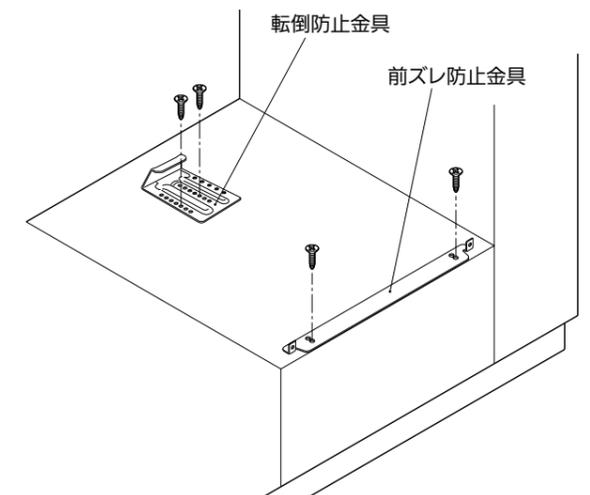


6 据付け手順

6-1 転倒防止金具、前ズレ防止金具の取り付け



- 転倒防止金具と前ズレ防止金具 (同梱) を、同梱の型紙を使い、この型紙に記載されている説明に従って、固定用ネジ4本 (同梱) で収納キャビネットに取り付けてください。
- このとき、電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。 (ネジ山がつぶれて、締まらなくなるおそれがあります)



お願い

- ドアの取っ手を持って、運搬や据付け作業は行わない
取っ手部に大きな力が加わると、取っ手部が破損します。

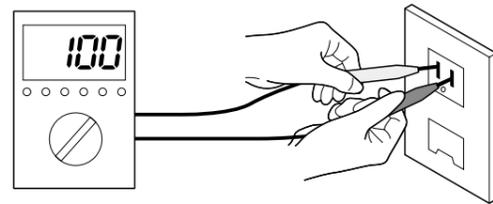
⚠ 注意

- 必ず転倒防止金具と前ズレ防止金具を取り付ける
落下によるけがの原因

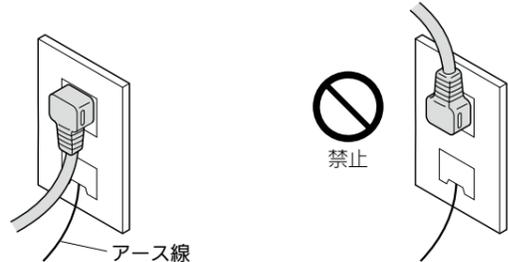
6 据付け手順 (つづき)

6-2 電源コード・アース線の接続

1 電圧が100Vであることを確認する



2 埋め込みコンセントに電源プラグを差し込む
 ●200V電源に差し込むと、瞬時に故障します。

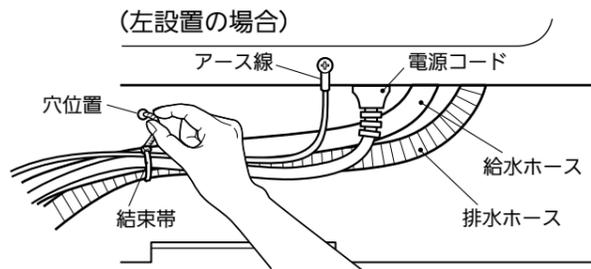


上図のように差し込みます。 電源プラグの向きが逆です。

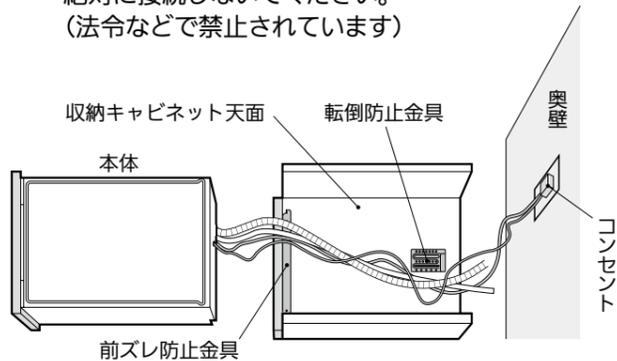
警告

- 電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む
 上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因

3 コード類を束ねる
 ●付属の結束帯で、電源コード・アース線・給水ホース・排水ホースを束ねてください。
 左設置の場合は、束ねた結束帯を穴に差し込みます。
 ※ 右設置の場合は、束ねた結束帯は穴に差し込まない



4 アース線をアースターミナルに接続する
 ※ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。
 (法令などで禁止されています)



警告

- アースを確実に取り付ける
 故障や漏電のときに感電する原因
 アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士*がD種接地工事を行う
 (アース工事は、お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください)
 ※工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

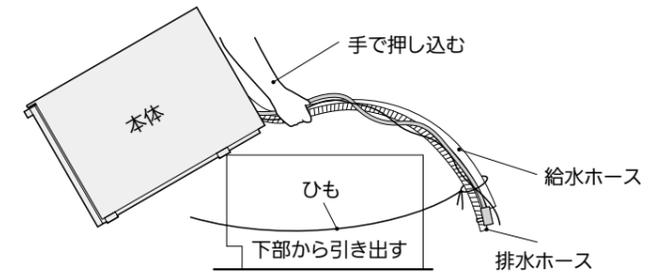
警告

- コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない
 感電・漏電や火災の原因
- 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない
 感電・漏電や火災の原因

6-3 本体のビルトイン

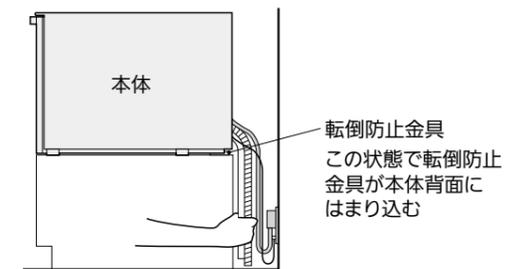
1 本体の後脚を収納キャビネットに載せ、前に傾けた状態で、給水ホースと排水ホースを下に押し込む

※ 排水ホースの先端を切って長さを調節しないでください。



2 本体前面左右のフランジ部(樹脂製)が収納キャビネットの側板の前面木口にあたるまで、本体を押し込む

※ 隣接する機器などに注意し、本体中央をゆっくり押しビルトインしてください。

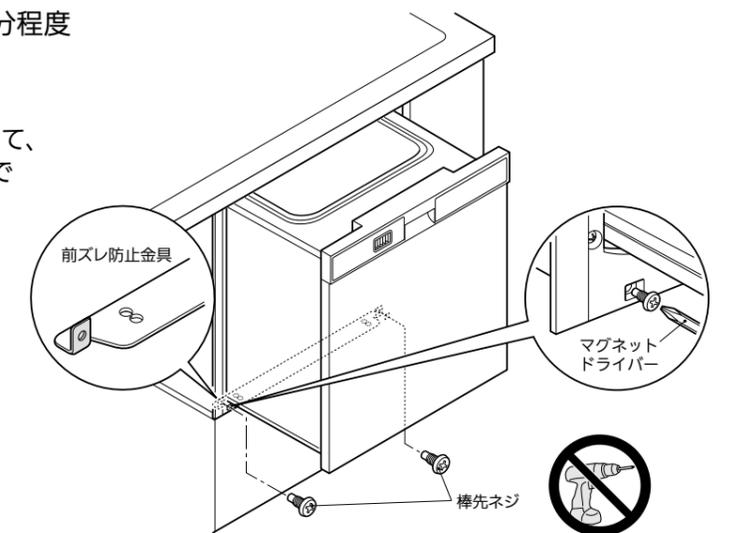


警告

- 排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付けない
 感電・漏電・火災や水漏れの原因

3 本体をシンク内に設置した後、ドアを半分程度引き出して、本体とキャビネットを棒先ネジ2本(同梱)でネジ止めする
 (ネジ止めにはマグネットドライバーを使用して、本体下部の左右にある角穴より棒先ネジ2本で固定します)

※ 電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。



※法令義務により、本機やキッチンの金属部分は、家屋の壁中のラスや金属板に、電氣的に接触しないようにしてください。
 法令：電気設備の技術基準の解釈

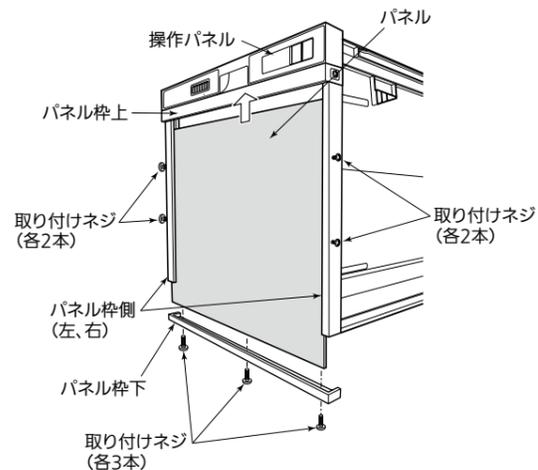
6 据付け手順 (つづき)

6-4 パネル(化粧板)／面材の取り付け

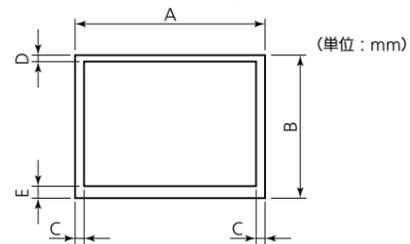
※ 機種形式により、パネル(化粧板)または面材を取り付けてください。
 ※ パネル(化粧板)／面材は、システムキッチンとのセット販売部材です。お買上げの販売店またはキッチンメーカー様にご相談ください。

パネル(化粧板)の取り付け

- ① ドアを少し引き出す
 - ② パネル枠下取り付けネジ(3本)を外して、パネル枠下を外す
 - ③ パネル枠側(左右)取り付けネジ(各2本)を緩める
 - ④ パネルを操作パネル枠上の溝に挿入して、パネル枠側(左右)の取り付けネジを締め付ける
 - ⑤ パネル枠下を取り付ける
- ※ **電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。**
 パネル枠(樹脂)が変形するおそれがあります。



パネル(化粧板)の寸法



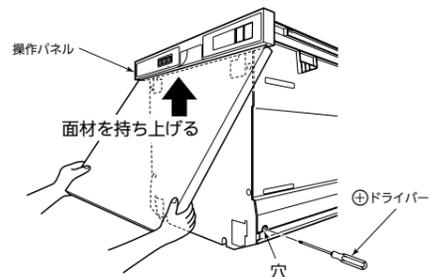
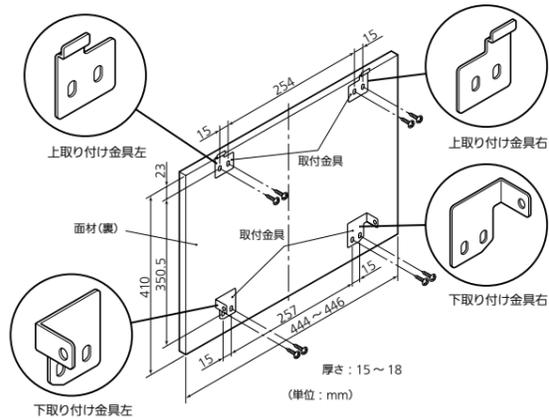
寸法	寸法
A	433±1
B	392.5±1
C	7
D	5
E	8.5

厚さ4.5mm以上6mmまでのパネルをご使用になる場合は、外周(斜線で指定した部分)の表面を、厚さ4.5mm以下になるようにけがきをし、カットしてください。



面材の取り付け

- ① 面材取り付け金具を固定用ネジ8本(同梱)で面材の下穴に合わせて固定する
 - 金具は面材の端面と平行になるように取り付けてください。
 - 金具に開けられた穴は長穴になっています。取り付け具合により調整を行ってください。
 - ② 面材の上側を先に、下側を後でドアにはめ込む
 - ③ ドアを少し引き出した後、**操作パネルと面材に隙間が開かないよう、面材を上へ押し上げた状態**で左右の穴から⊕ドライバーで面材が傾かないように、金属用ネジ2本(同梱)で締め付ける
- ※ **電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。**
 ネジ山がつぶれて、締まらなくなるおそれがあります。



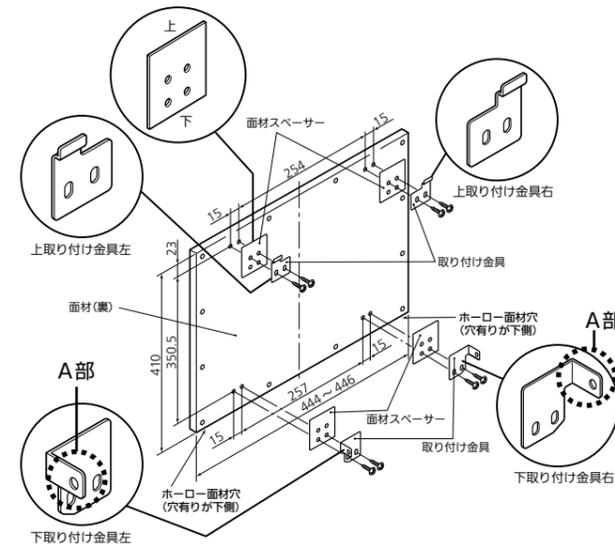
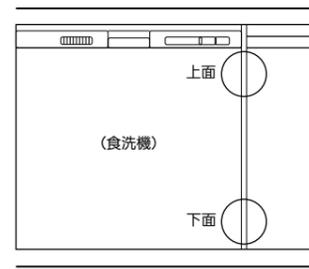
取り付けのポイント

状況	対処方法
● 操作パネルと面材に隙間が開く	● 下取り付け金具をなるべく下側に取り付け直す(金具の長穴を使って)
● 操作パネルと面材に斜めの隙間が開く	● 上下の取り付け金具が面材の端面と平行に取り付けられていない ※ 平行になるように取り付け直す
● 面材の上側にガタがある	● 上取り付け金具をなるべく上側に取り付け直す(金具の長穴を使って)
● 面材に下穴(取り付け金具用)が無い場合、φ2.5 深さ12mmの穴を精度良く開ける	
● 取り付け状態(隙間、曲がり)を確認してから、取り付け金具のネジを本締めする	

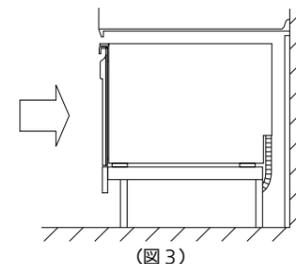
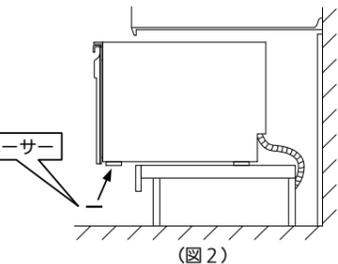
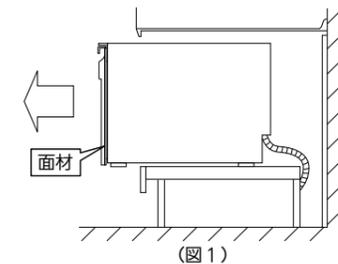
面材の取り付け (つづき)

キャビネット据付け後に調整が必要な場合、下記を行ってください。

- ① キッチンのドアと面材が揃っているかを確認する
 - 面材上部及び下部が奥まっている場合は、「面材スペーサー」で下図のように調整を行ってください。
 ※調整は、1枚(1mm)までにしてください。
 面材下部が奥まっている場合は、取り付け金具の長穴(A部)で出代調整も行えます。
 左右の面材取り付けネジをゆるめ、出代調整した後、ネジを固定してください。



- ② 取り付けした面材の下端と、隣接するキャビネットのドア下端が合っているか確認する
 - 面材の低さが低い場合は、「高さ調整スペーサー」で下図のように調整を行ってください。
- ②-1: ドアを半分程度引き出して、本体とキャビネットをネジ止めした棒先ネジ2本を外す
- ②-2: キャビネット内に設置した本体を、1/4くらい引き出す(図1参照)
 ※ 本体の底面にある、脚が現れるまで引き出してください。
- ②-3: 本体の底面にある、左右それぞれの脚に「高さ調整スペーサー」を貼り付ける(図2参照)
 ※ 高さ調整スペーサーの厚さは1mmです。
- ②-4: 再び、本体をキャビネット内に設置する(図3参照)



警告



● 排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付けない
 感電・漏電・火災や水漏れの原因

- ②-5: 本体をキャビネット内に設置した後、ドアを半分程度引き出して、本体とキャビネットを棒先ネジ2本でネジ止める

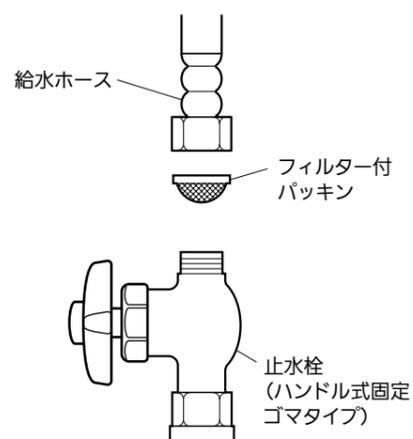
6 据付け手順 (つづき)

6-5 給湯(給水)管との接続

止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)にフィルターを入れ、給水ホースを確実に接続します。

(フィルターは、給水ホースにテープ止めされています)

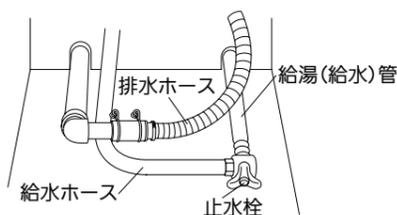
※ ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。
適正締め付けトルクは5 ~ 10N・m(50 ~ 100kgf・cm)です。
(締め付け作業は、市販の工具(スパナなど)を2本使用して締め付けてください)



6-6 排水ホースの接続

1 排水管(HT20)に排水ジョイントを差し込み(30mm以上)、ホースバンドで止める
※接着剤使用禁止(保守時本体が取り外せない)

2 排水ホースは、給水ホースの上を通るようにする(接続部が目視できるように)



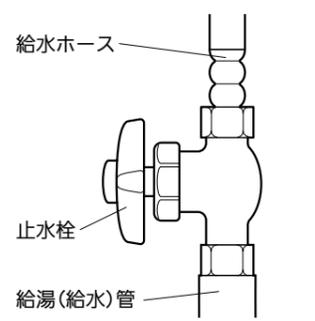
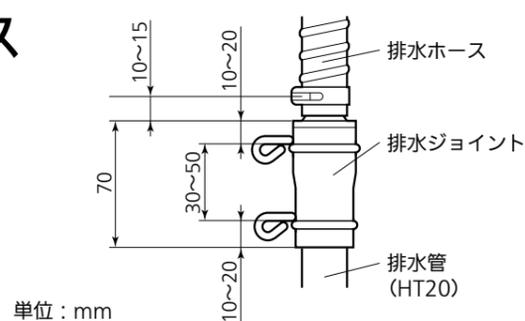
※ 排水ホースに折れや、ねじれが無いことを確認してください。

注意

● 排水ホースは切断しない
水漏れの原因
禁止

・排水ホースを切断した場合は、無償保証できません。

給・排水ホース 接続完成図

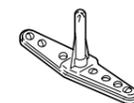


7 部品取付方法

回転タワーノズル、残さいフィルター、小物入れ、下かご、上かごを定位置に取り付ける

EW-45L1シリーズ・EW-45H1シリーズ・EW-45V1シリーズの場合

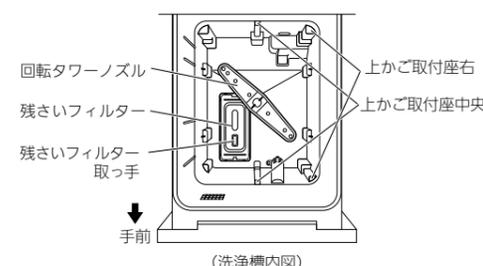
1 回転タワーノズル
洗浄槽の中央突起部に回転タワーノズルを差し込む
ロックなどはありません。取り付け後、軽く回すことを確認してください。



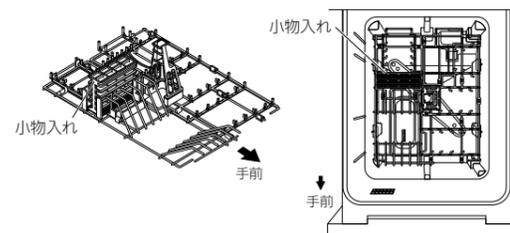
2 残さいフィルター
洗浄槽左手前の湯わかしヒーター格納部に残さいフィルター取っ手が手前になるように取り付ける
溝からズレていないか、確認してください。



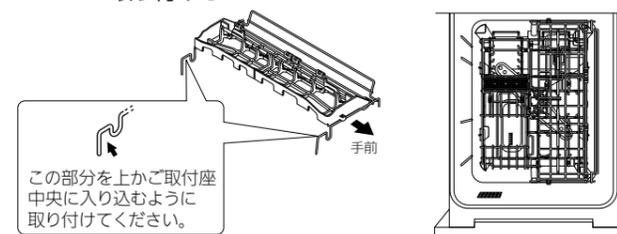
回転タワーノズルと残さいフィルターを、下図のように取り付ける
図はEW-45Hシリーズ、EW-45Vシリーズのものです。



3 下かご
下かごは、小物入れを取り付けたまま、小物入れが洗浄槽の奥側になるように取り付ける



4 上かご
洗浄槽中央および右側の突起部に掛かるように取り付ける



この部分を上かご取付座中央に入り込むように取り付けてください。

EW-45R2シリーズの場合

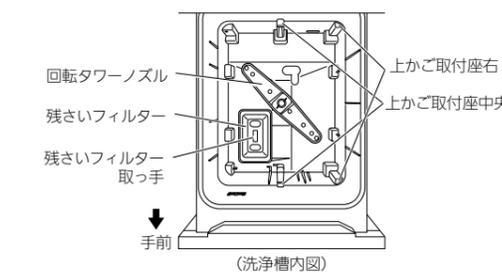
1 回転タワーノズル
洗浄槽の中央突起部に回転タワーノズルを差し込む
ロックなどはありません。取り付け後、軽く回すことを確認してください。



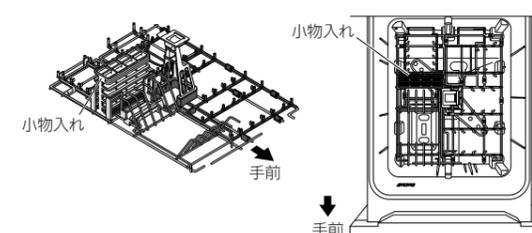
2 残さいフィルター
洗浄槽左手前の湯わかしヒーター格納部に、残さいフィルターを取り付ける
溝からズレていないか、確認してください。



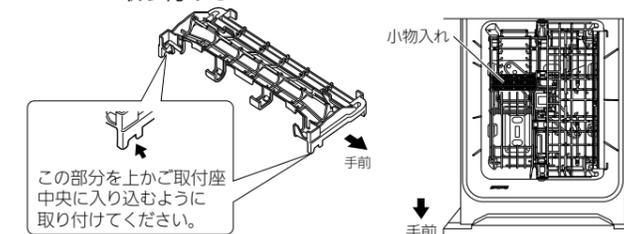
回転タワーノズルと残さいフィルターを、下図のように取り付ける



3 下かご
下かごは、小物入れを取り付けたまま、小物入れが洗浄槽の奥側になるように取り付ける



4 上かご
洗浄槽中央および右側の突起部に掛かるように取り付ける



この部分を上かご取付座中央に入り込むように取り付けてください。

8 据付け後の確認(チェックリスト)

- 据付けが完了しましたら、下表に従って点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。(機能が確保できないばかりか、安全性が確保できません)

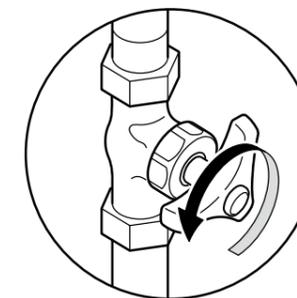
点 検		点 検 内 容	チエック
その周辺 機器及び	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	
	転倒防止金具 前ズレ防止金具	転倒防止金具及び前ズレ防止金具は取り付けましたか。	
	面材の固定	金属用ネジ(2本)で面材を締め付けましたか。	
排水接続 給湯機(給水)	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。(設定温度60℃以下)	
	フィルター	給水ホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	
	排水ホース	排水管に排水ジョイントを確実に接続したことを確認しましたか。 また、押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	
電気接続	電源コンセントは専用回路で、電源プラグ125V 15A以上のアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。 アース線を接続しましたか。		
試 運 転	P19~21の「9 試運転」を行い、正常に動作しましたか。		

- 下記の項目は、P19~21の「9 試運転」実施後に確認してください。

点 検	点 検 内 容	チエック
試 運 転 後	給・排水ホースなどからの水漏れがないか確認しましたか。	
	止水栓は、開けたままになっていますか。 (本機への通電を切る場合は、止水栓を閉めてください) お客様に引き渡すまでは、必ず家屋の元水栓を閉めてください。	
	電源スイッチが「切」の状態、庫内の給水口から水が出ていないことを確認しましたか。	

9 試運転

9-1 試運転方法

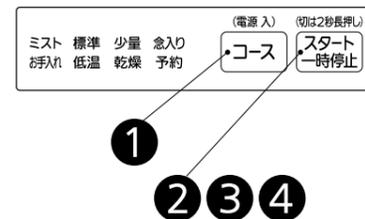
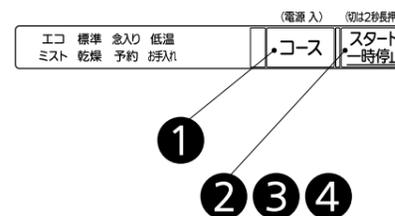


- お客様(発注者様)立ち会いで、試運転を行ってください。
- 据付け終了後、試運転を必ず実施してください。
試運転を行わなかった場合、下水ガスが排水配管を通り、食器洗い乾燥機に逆流し、においの原因や金属部品の腐食の原因になり、故障のおそれがあります。
食器洗い乾燥機本体内部の排水経路に排水トラップが設けてあり、試運転を行うことによって、排水トラップ内に洗浄水を貯め封水し、下水ガスの逆流を防止することができます。

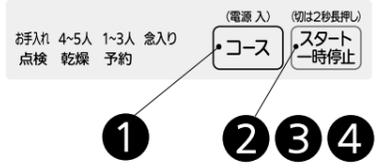
※ 本機への通電・通水が不可状態で試運転が行えない場合は、通電・通水が可能になった時に、必ず試運転を行ってください。

※ 本機への通電がない場合は、止水栓は開けないでください。

操作手順	表示	
EW-45L1シリーズ EW-45H1シリーズ	1 「コース」を押し、電源がONの状態にする 2 「スタート/一時停止」を6秒長押しする(2秒長押しした時点で「ピ」と音がし、ランプ表示が消えるがそのまま押し続ける) 3 「スタート/一時停止」を押す 4 「スタート/一時停止」を押す	標準 エコ ランプ点滅 標準 念入り 乾燥 ランプ点滅(サービスモード表示) 標準 念入り 乾燥 ランプが消灯し お手入れ ランプ点滅(試運転モード表示) お手入れ ランプ点灯(試運転モードスタート)
EW-45V1シリーズ	1 「コース」を押し、電源がONの状態にする 2 「スタート/一時停止」を6秒長押しする(2秒長押しした時点で「ピ」と音がし、ランプ表示が消えるがそのまま押し続ける) 3 「スタート/一時停止」を押す 4 「スタート/一時停止」を押す	標準 ランプ点滅 標準 少量 低温 ランプ点滅(サービスモード表示) 標準 少量 低温 ランプが消灯し お手入れ ランプ点滅(試運転モード表示) お手入れ ランプ点灯(試運転モードスタート)



9 試運転 (つづき)

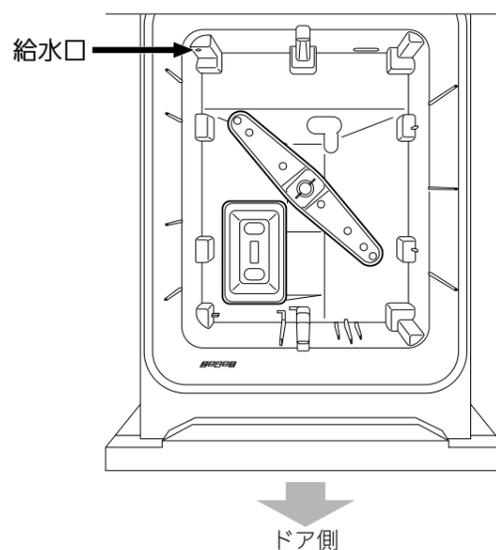
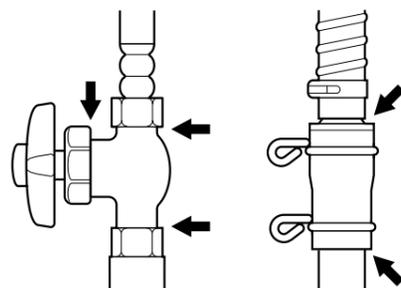
操作手順	表示
EW-45R2シリーズ ① 「コース」を押し、電源がONの状態にする 	4~5人 ランプ点滅
② 「スタート 一時停止」を約6秒長押しする(約2秒長押しした時点で「ピッ」と音がし、ランプ表示が消えるが、そのまま押し続ける)	4~5人 1~3人 乾燥 ランプ点滅 (サービスモード表示)
③ 「スタート 一時停止」を押す ※ あやまって「コース」を押した場合、別のモードになります。ブレーカーを切り、再度 ① からやり直してください。	4~5人 1~3人 乾燥 ランプが消灯し、お手入れ ランプ点滅 (試運転モード表示)
④ 「スタート 一時停止」を押す ※ 洗浄3分、乾燥2分を行い、通常コース選択に戻る(約8分の工程です。洗浄音と排気口風をご確認ください)	お手入れ ランプ点灯 (試運転モードスタート)

9-2 確認項目

- 運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水漏れが無いことを充分確認してください。
- ドアを開け、庫内の水が排水されることを確認してください。(庫内に水が残っている場合は、排水ホースのつぶれ、ねじれが考えられます。排水ホースを点検し、不具合を直してください)
- 電源スイッチが「切」の状態、庫内の給水口から水が出ていないことを確認してください。

- ※ 試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。
- ※ 本機への通電を切る場合は、止水栓を閉めてください。
- ※ お客様に引き渡すまでと長期間居住されない場合は、万が一の水漏れを防止するため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。

水漏れ確認



9-3 異常報知について

- 試運転でブザーが鳴り続け、表示部が点滅してる場合は、表の内容を確認してください。

EW-45L1シリーズ・EW-45H1シリーズ

表示	原因	処置
エコ 標準 念入り 低温 ミスト 乾燥 予約 お手入れ	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチを「切」にする ● 断水の場合は、断水の回復を待って運転する ● 水道栓(元栓および収納キャビネット内の止水栓)は、必ず開栓する ● 電源(ブレーカー)を切る場合は、止水栓は必ず閉める
エコ 標準 念入り 低温 ミスト 乾燥 予約 お手入れ	機内の水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 修理が必要です。 ※ 止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、お買上げの販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します) ● 電源(ブレーカー)を切らないでください。
エコ 標準 念入り 低温 ミスト 乾燥 予約 お手入れ	排水不良	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水ホースの折れなどを、確認してください。 ● 排水しても水位センサーがOFFしません。 ● 修理が必要です。 ※ 止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、お買上げの販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します)

EW-45V1シリーズ

表示	原因	処置
ミスト 標準 少量 念入り お手入れ 低温 乾燥 予約	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチを「切」にする ● 断水の場合は、断水の回復を待って運転する ● 水道栓(元栓および収納キャビネット内の止水栓)は、必ず開栓する ● 電源(ブレーカー)を切る場合は、止水栓は必ず閉める
ミスト 標準 少量 念入り お手入れ 低温 乾燥 予約	機内の水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 修理が必要です。 ※ 止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、お買上げの販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します) ● 電源(ブレーカー)を切らないでください。
ミスト 標準 少量 念入り お手入れ 低温 乾燥 予約	排水不良	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水ホースの折れなどを、確認してください。 ● 排水しても水位センサーがOFFしません。 ● 修理が必要です。 ※ 止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、お買上げの販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します)

EW-45R2シリーズ

表示	原因	処置
お手入れ 4~5人 1~3人 念入り 点検 乾燥 予約	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチを「切」にする ● 断水の場合は、断水の回復を待って運転する ● 水道栓(元栓および収納キャビネット内の止水栓)は、必ず開栓する ● 電源(ブレーカー)を切る場合は、止水栓は必ず閉める
お手入れ 4~5人 1~3人 念入り 点検 乾燥 予約	機内の水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 修理が必要です。 ※ 止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、お買上げの販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します) ● 電源(ブレーカー)を切らないでください。
お手入れ 4~5人 1~3人 念入り 点検 乾燥 予約	排水不良	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水ホースの折れなどを、確認してください。折れなどがない場合は、修理が必要です。 ※ 止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、お買上げの販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します)

- 上記の処置後、再度試運転を行ってください。
- 上記以外の表示が出た場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら(こんな表示が出たら)」のページを参照ください。

9-4 試運転後の作業

P11「配管の位置確認」で外した収納キャビネットの引き出しおよび点検口のフタなどを、元の状態になるよう取り付けてください。

10 お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使いかたをご説明ください。
特に「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ご使用になられるお客様がご不在の場合、発注者(オーナー・ゼネコン)様や管理人様へご説明ください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。
- この据付説明書は据付け終了後、お客様へ必ずお渡しください。
なお、(同梱の)取扱説明書および保証書は、必ずお客様にお渡しください。

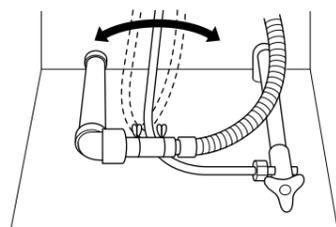
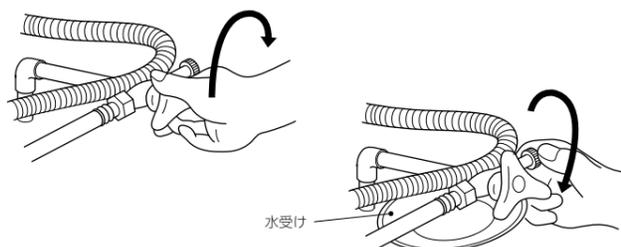
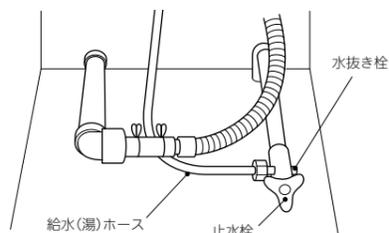
●お引き渡し時、お客様に止水栓の位置をお知らせください。

- ご使用前に下記をご確認いただくようご説明ください。
 - ・ブレーカーは「入」にしてありますか？
 - ・止水栓は開いていますか？
 - ・給湯温度は60℃以下になっていますか？
 - ・「低温」コースは給湯温度を40℃以下に設定してください。

寒冷地で冬季に長期間ご使用にならない場合の水抜き方法(機内給水経路)

寒冷地で冬季に長期間ご使用にならない場合は、下記の水抜き方法を説明ください。

- ①止水栓を閉じる
- ②水抜き栓下部に水受けを置き、水抜き栓を取り外す
 - 水受けは約100mLが受けられる皿またはタッパーを準備する(高さ25mm以下)
- ③電源を入れて、「スタート 一時停止」を押す(給水弁が開放される)
 - 運転は乾燥専用以外いずれも可
- ④給水(湯)ホースを左右に振ったり、軽くたたく
 - 水受けに残水が排出された後も、水抜き栓開口部に乾いた布を押し当て、内部の水を吸いとる(水滴が落ちなくなるまで)
- ⑤電源を切って、排水水を処理する
- ⑥水抜き栓を取り付ける(必ず守ること)
 - 止水栓は再使用するまで、閉じたままにする



Memo

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1